



各事業所で実施している活動プログラムの目的・具体的内容

児童デイサービス はんたがわ（児童発達支援）

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

	項 目	活動プログラムのねらい	具体的な支援内容	5領域の分類
1	ね ん ど 遊 び	・指先訓練 ・識別訓練	・さまざまな色の粘土を用意し、色の識別や、ねんどを手にとって触る・こねる・型抜きをすることで指先運動を行う。	②運動・感覚（こねたり、触れることで、姿勢や動作の基本的技能の向上や保有する感覚の活用を促す） ③認知・行動（色の認識や形成の中で、感覚や認知の活用や数量・大小・色等の習得を促す）
2	体 育 遊 び	・行動体力をつけ、身体機能を高める。 ・危険回避能力を身につける。 ・バランス感覚を養う。	・キャタピラ、平均台、なわとびを使い、行動体力を身につける。平均台ではバランス感覚や「高い所から落ちたら危ない」という危険回避を意識してもらう。	②運動・感覚（体を使った遊びにより、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上や身体の移動能力の向上、保有する感覚の活用を促す） ③認知・行動（体を使った遊びや遊具の活用等により、感覚や認知の活用、知覚から行動への認知過程の発達、認知や行動の手がかりとなる概念形成を促す） ④言語・コミュニケーション（他児や職員との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得を促す） ⑤人間関係・社会性（一人遊びから協同遊びへの支援や自己の理解とコントロールのための支援につなげる）
3	ス ラ イ ム 作 り	・手順に沿ってスライム作りを楽しむ。 ・指先を動かし感触を確かめる。	・スライムができるまでの工程を児童が行う。感触を確かめながら感覚過敏の軽減や、冷たい、柔らかい等のことばを引き出す。	②運動・感覚（こねたり、触れることで、姿勢や動作の基本的技能の向上や保有する感覚の活用を促す） ③認知・行動（色の認識や形成の中で、感覚や認知の活用や数量・大小・色等の習得を促す）
4	ヒ モ 通 し	・指先の発達を促す。 ・左右違う動作ができるようになる。	・集中力、想像力を目的とし、カラフルな色や形をしたパーツにヒモを通す。	○運動・感覚（ひもを使った遊びを通じて、日常生活に必要な動作の習得や、保有する視覚や触覚等を十分に活用できるよう支援する） ○認知・行動（物の機能や属性、数量、形、色、重さ等の物の変化や違いを習得して、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する）
5	フ リ ン ト 学 習	・文字や線に興味を持ち、書く楽しさを知る。 ・集中力を身につける。	・プリントを用意し、シール貼りやなぞり書き、ひらがなや数字など発達段階に応じて支援する。	○運動・感覚（日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の改善及び習得を支援する） ○認知・行動（それぞれの児童に合った学習プリントによって、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す） ○言語・コミュニケーション（それぞれの児童に合った学習プリントによって、読み書きの向上に向けて支援する）
6	シャボン玉遊び	・シャボン玉を吹くことで、口の運動に繋がり、ことばの発達を促す。	・息の吹き込み方を伝え、シャボン玉の大きさを変えたり、変化を楽しみながら口の運動を行う。	○言語・コミュニケーション（ことばを発する為のエネルギーは「呼吸」なので、言語に必要不可欠。自発的な発声を促せるよう支援する）
7	魚 釣 り ゲ ー ム	・釣竿を手を持ち、魚を釣る事で指先訓練をしながら集中力を高める。	・魚を釣るためにゆっくり磁石をつけることで集中力を高める。指先を使って釣竿の動かし方を教える。	○認知・行動（魚釣りの遊びを通じて、物の機能や属性、数量、形、色、重さ等の物の変化や違いを習得して、認知や行動の手がかりとして活用できるよう支援する。また、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促せるよう支援する） ○人間関係・社会性（小集団で魚釣り遊びをする際は、他児の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援することや、集団に参加するための手順やルールを理解して集団に参加出来るよう支援する）
8	動物カードゲーム	・音や色、形の違いを認識させ、識別力を高める。 ・言語の発達を促す。	・鳴き声でどの動物が認識したり、絵を見て同じ色や形のカードを取るよう促す。動物の名前をことばを発することで、言語の発達につなげる。	○認知・行動（カードゲームを通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促すことや、情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する） ○言語・コミュニケーション（カードゲームを通じて、具体的な事物と言葉の意味を結びつけることにより、言葉の習得や自発的な発声を促す。また、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う）
9	あ て 鬼	・ルールを守り、体力向上を図る。	・事前にルールを説明し、鬼はお友達にボールを投げ当てる。当たった児童は鬼になりお友達に当てるを繰り返して行く。	○運動・感覚（日常生活に必要な動作の習得や、保有する視覚や聴覚、触覚等を十分に活用できるよう支援する） ○認知・行動（視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う） ○人間関係・社会性（あて鬼を通じて、遊びの中でルールを守ったり役割を分担する事で、社会性の発達を支援する。また、勝ち負けの理解や妥協できる力をつける）
10	お 買 い 物 支 援	・コミュニケーションの向上 ・社会性の向上。	・公共施設でのルールを守り、お店で一連の流れを学ぶ。（商品を選ぶ・レジでお金を払う・商品を受け取る）	○認知・行動（お買い物活動を通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して、計算力などの認知機能の発達を促す支援を行う） ○言語・コミュニケーション（相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する） ○人間関係・社会性（いつもとは違う環境への適応能力の向上や、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う）
11	イス取りゲーム	・協調性や社会性を育む。 ・ルールを理解する。	・勝ち負けを経験する。 ・ルールを守って遊ぶ。 ・音楽を聞く集中力を高める。	○運動・感覚（日常生活に必要な動作の習得や、保有する視覚や聴覚、触覚等を十分に活用できるよう支援する） ○認知・行動（視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援を行う） ○人間関係・社会性（あて鬼を通じて、遊びの中でルールを守ったり役割を分担する事で、社会性の発達を支援する。また、勝ち負けの理解や妥協できる力をつける）
12	お 散 歩	・危険認知や回避を覚える。 ・季節を感じてみる。 ・体力の向上を図る。	・飛び出しが危ないことや車が通る道は危険など交通ルールを伝える。 ・手をつないでみんなでお散歩を楽しむ。	○運動・感覚（お散歩を通じて、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の習得、筋力の維持・強化を図る） ○認知・行動（お散歩を通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援する） ○人間関係・社会性（お散歩を通じて、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する）
13	お 絵 描 き	・表現力、想像力、色彩感覚を高める	・想像した物や形を絵で表現する。 ・さまざまな素材（色ペン、色鉛筆、クレヨン）を使ってお絵描きを楽しむ。	○運動・感覚（お絵かき遊びを通じて、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する） ○認知・行動（お絵かき遊びを通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す。また、数量、形の大きさ、色の違い等の認識や適切な道具の使い方を習得するための支援を行う）
14	空 き 箱 製 作	・表現することを楽しむ。 ・制作に使う道具を正しく使う。	・身近な物に触れて動かしたり、触って組み立てたりすることで、触れる感覚や物を作り上げる経験をする。 ・テープやハサミを使って作りたい物を作る。	○運動・感覚（制作活動を通じて、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する） ○認知・行動（制作活動を通じて、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す。また、数量、形の大きさ、色の違い等の認識や適切な道具の使い方を習得するための支援を行う）
15	水 遊 び	・季節の遊びを楽しむ。 ・水の感触に慣れる。	・お友達と水遊びを楽しむ。 ・身体全体で水に触れ五感の発達に繋げる。 ・水の冷たさ、気持ちよさを感じてみる。	○運動・感覚（水遊びを通じて、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作を習得し、保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう支援する） ○人間関係・社会性（水遊びを通じて、集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する）